

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号773

発生場所

病室

精神・意識障害の有無

無

リスク

C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク

発生場所（その他）リネン庫、休憩室

発生内容の分類

ネズミによる被害

関連したもの

壁

発生内容

害獣（ネズミ）による胃管チューブの断裂

概要

以前から、ネズミが出没することはあったがたまに目撃する程度であった。今年の冬になり、1月くらいから頻繁にネズミを病棟で見かけるようになり（親子？）さまざまな仕掛けをするが捕まらず、看護師の休憩室にも出沒。そのあいだに、患者さんに入っている胃管チューブが食いちぎられた事例が3例続いた。目撃情報によると、看護師休憩室や、リネン庫などウロウロしており、猫くらいの大きさであると情報が複数あった。

要因

施設の老朽化。1976年開院の築45年。

対策

ねずみ確保のとりもちなどを当初おいていたが引っかからず。1カ月ほど経ったところで子ネズミが確保された。大きいネズミはまだ捕まっていない。糞の被害もあり業者で対応してもらっていたが確保できずにいる。患者に留置している胃管チューブは、ガーゼで巻きタオル等で覆うようにした。

参照



食いちぎられた胃管チューブ



休憩室等にあるネズミの糞



捕まえた子ネズミ